

令和6年度年間学習指導計画案

科目	論理国語	単位数	3単位：文系、スポーツコース 2単位：理系、衛生看護科	学年・学科・コース	2年・普通科・普通コース、スポーツコース 2年・衛生看護科
使用教科書	精選論理国語（三省堂）		副教材等		漢字の参考書、現代文評論用語集（普通コースのみ）

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	ミロのヴィーナス	・ミロのヴィーナスの「魅力」について考える。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 ・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見直しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。 	定期考査 授業態度 小テスト 課題
6 7	マルジャーナの知恵	・「情報の商品化」という資本主義の現象を理解する。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとしている。 	
8 9	人類による環境への影響	・人類史から環境問題を考える。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表しようとしている。 	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
10 11 12	病と科学 動的平衡	<ul style="list-style-type: none"> ・「痛み」に着目して医療や科学の限界について考える。 ・生命とは「動的平衡」のシステムであるという考え方を理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。 	定期考査 授業態度 小テスト 課題
1	「なぜ」に答えられない科学	<ul style="list-style-type: none"> ・科学の知とはどのようなものかを理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。 	定期考査 授業態度 小テスト 課題
2 3	「市民」のイメージ 「である」ことと「する」こと	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの陪審制度の事例をもとに「市民」の意味について考える。 ・「市民社会」における権利と義務について考える。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。 	定期考査 授業態度 小テスト 課題